

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○教職員一人ひとりが本校学校教育目標の具現化を目指し、生徒との触れ合いを大切にし、教職員がお互いに豊かにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校作りを目指します。	
○「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、学ぶ意欲の向上と基礎基本の定着を目指します。	
○人権を尊重し、互いの良さを認め「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しさの心を持つ」生徒を育みます。	
○相談活動を充実させ、心身が健康な生徒を育成と安全な学校生活を目指します。	
○学校評価を生かし、保護者や地域と協働し、「まち」と共に歩む学校づくりを目指します。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		様々な経験を通して、他を思いやる心を育み、自分で深く考え行動する態度を養う。	①『人権尊重の視点』（だれもが・安心して・豊かに）を意識し、人権教育を実践する。 ② 全教育活動における道徳教育の充実を図るとともに道徳を通していじめの未然防止を図る。
担当	道徳指導部		

2 生徒の実態

学校行事に積極的かつ団結力のある取組ができ、また、自分がクラスや学校のために一生懸命に活動する生徒が多い。さらに、自分勝手な行動がまわりに迷惑をかけてしまうことを理解し、行動できる生徒がほとんどである。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1「道徳科授業」の充実

- ・年度初めの全校道徳の授業で「立志」を行い、本年度の自己の見つめた目標を定め、向上を持ち強い意志で取り組める環境を作る。
- ・教科指導や特活指導の中で道徳的内容を取扱い、人間としての生き方、考え方を深める機会となるよう研修を行い、教材等の工夫を行う。
- ・コミュニケーションの基礎基本となる「あいさつ」を継続し全校で推進する。

指針2「諸活動の充実」

- ・各学年行事などの体験活動で、仲間とともに活動する時間を通して、自分の気持ちを相手に伝える、また相手の立場を理解するというコミュニケーション能力の育成を図る。また、集団としての規範意識を高め、さらに集団でひとつのものをつくり上げる達成感を体験させる。